

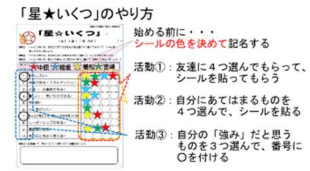



2 研究の実際 > (2) 授業の実際

Ⅰ 授業実践 (中学校 A 第 1 学年 2 時目)

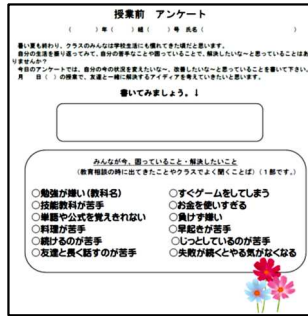
- ◆本時のねらい：グループでの交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ったり、「強み」の生かし方を考えたりすることができるようにする。
- ◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を生かそう。
- ◆授業前の取り扱い
 - ・前時のワークシートに目を通して、自分の「強み」を書くことができていない生徒を把握するとともに、授業の導入で紹介する生徒の感想を選んでおく。
 - ・グループを意図的に構成し、生徒の心理的な負担を減らすように配慮する。
- ◆本時の展開

学習活動と授業スライド	・生徒の様子と教師の気付き	○教師の働き掛け
<p>1 前時の活動を振り返る。</p> <p>2 本時のめあてを知る。</p>	<p>・生徒の様子と教師の気付き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時のワークシートと振り返りシートを見て、学習内容を振り返る様子が見られた。 ・『強み』とは何でしょう』の質問に、答えることができた生徒は約半数だった。「強み」の定義を再度確認してから、本時のめあてに入った。 ・本時のめあてと学習内容を知り、活動を楽しみにしている様子だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の働き掛け ○授業前に前時のワークシートと振り返りシートを返却し、自分の「強み」や学習を通じた気付き等を思い出すことができるようにした。 ○前時のスライドを提示し、「強み」の定義を確認できるようにした。
 <p>2. 本時の「めあて」</p> <p>自分の強みを生かそう</p> <p>「星☆いくつ」</p> <p>Step Up Webbing</p>	 <p>【本時のめあてを確認する様子】</p>	
<p>3 「星☆いくつ」の活動を行う。</p> <p>交流活動 (4人)</p>  <p>「星☆いくつ」のやり方</p> <p>始める前に・・・シールの色を決めて記名する</p> <p>活動①：友達に4つ選んでもらって、シールを貼ってもらう</p> <p>活動②：自分にあてはまるものを4つ選んで、シールを貼る</p> <p>活動③：自分の「強み」だと思うものを3つ選んで、番号に○を付ける</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートを配付した。 ○スライドを提示し、活動内容と方法を説明した。

<p>(1) グループの友達に当てはまる「強み」を4つ選んでシールを貼る。</p> <p>(2) 自分に当てはまる「強み」を4つ選んでシールを貼る。</p> <p>(3) 自分の「強み」だと思えるものを3つ選び丸印を付ける。</p> <p>(4) 選んだ「強み」と気付きを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のことをしっかり考えながら、シールを貼る様子が見られた。 ・自分に戻ってきたワークシートを見て、嬉しそうな表情をしていた。 ・少し迷う様子も見られたが、友達のを参考にしながら自分の「強み」を選んでいった。 ・自分が選んだ「強み」とその理由を伝えることができていた。 ・友達の発表を真剣に聴く様子が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感が低い生徒でも安心して活動できるように、まず、友達の「強み」と思うものにシールを貼るように指示した。 ○友達にシールを貼ってもらったワークシートに目を通す時間を設けた後に、自分の「強み」と思うものにシールを貼るように指示した。 ○友達と自分が貼ったシールを改めて確認した後に、特に、自分の「強み」と思うものに丸印を付けるように指示した。 ○前時に学習した「聴き方のポイント」を確認して、安心できる雰囲気の中で伝え合うことができたようにした。 ○選んだ「強み」と気付いたことを伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付くことができるようにした。
<p>8. 自分の強み(ストレンクス)をグループで伝え合おう</p> <p>【聴き方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 相手を覚る ② うなずきながら聴く ③ 最後まで聴く <p>4 「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の活動を行う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">交流活動 (4人)</p>	 <p style="text-align: center;">【「星☆いくつ」の活動の様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートを配付した。 ○スライドを提示し、活動内容と方法を説明した。

(1) 自分が苦手なことや困っていることの中で、解決したいと思っていることを1つ書く。

・事前のアンケート(自分が困っていること・改善したいことアンケート)を参考にして、書くことができていた。

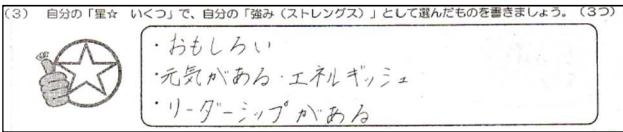


【事前のアンケート】

○前時の活動(「自分 Webbing」)と活動の方法が似ていることを伝え、抵抗なく取り組むことができるようにした。

○事前のアンケート(自分が困っていること・解決したいことアンケート)を参考にして書くように助言した。

(2) 友達が解決したいと思っていることを解決するためのアイデアを書く。

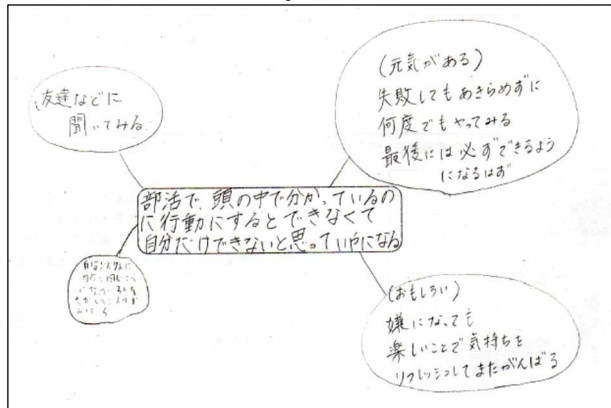


【Bさんが選んだ自分の「強み」】

○これまでの活動で知った友達の「強み」を参考にして、解決するためのアイデアを書くように助言した。



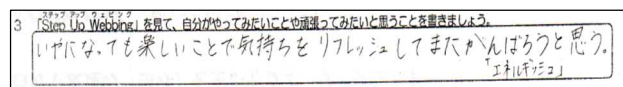
・アイデアの横にその人の「強み」を書くように声掛けをすると、「強み」を生かした解決策を書くことができていた。



【Bさんのグループの友達が記述した「Step Up Webbing」】

(3) 自分が解決したいと思っていることを解決するために頑張りたいことを書く。

・友達からのアイデアを見て笑顔になったり、納得したりする様子が見られた。
・友達のアイデアを参考にして、自分の「強み」を生かした解決方法を一生懸命に考えていた。



【Bさんが記述した「自分が頑張りたいこと」】

○友達にアイデアを書いてもらったワークシートに目を通す時間を設けた。

○友達のアイデアを参考にして、自分が頑張りたいことを書くように助言した。

<p>(4) 自分が解決するために頑張りたいことを伝え合う。</p> <p>5 本時の活動を振り返る。</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">交流活動（4人）</p> <p>(1) 振り返りシートに記述する。</p> <p>(2) グループで、気付きを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が頑張りたいことについて、伝え合うことができていた。 ・友達の発表にながきながら、真剣に聴くことができていた。 <ul style="list-style-type: none"> ・「星☆いくつ」や「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の活動で感じたことや気付いたことを、振り返りシートに書くことができていた。 ・自分と同じ考え方や違う考え方を知って、自己理解や他者理解を深めている様子だった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(6) 今日の学習の気付きや感想を書きましょう。</p> <p>自分の強みを生かし、友達からアドバイスをもらって、てみようと思いましたが、やはり、人のいい所、自分のいい所など知る事が大切なんだと思いました。これからは、人のいい所ばかりではなく、落ちこんだ時やイヤになった時、自分にもいい所があることを忘れないで過ごしていきたいです。</p> </div> <p style="text-align: center;">【生徒が記述した感想や気付き】</p>	<p>○自分の「強み」を生かして頑張りたいことについて伝え合うことにより、自分や友達の「強み」を生かそうとする意欲を高めるようにした。</p> <p>○振り返りシートを配付した。</p> <p>○気付いたことや感じたことを記述してグループで伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付くことができるようにした。</p>
<p>6 次時の活動を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時もグループで「強み」について学習していくことを伝えると、笑顔で話を聞いていた。 	<p>○次の時間も「強み」について学習することを伝え、興味や関心を継続できるようにした。</p>

◆授業後の取り扱い

- ・学級通信等で学習活動や生徒の感想を紹介しました。
- ・ワークシートや振り返りシートに、教師が気付いたことや感じたことを書きました。
- ・ワークシートと振り返りシートをファイルにとじて、生徒が学習を振り返ることができるようにしました。

◆本時の考察の視点

- ・本時のねらい「グループでの交流活動を通して、自分や友達の『強み』を知ったり、『強み』の生かし方を考えたりすることができるようにする」を達成することができたかを、振り返りシートの結果と記述から考察します。考察の視点は、以下のとおりです。

【① 学習に進んで参加することができたか】

振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問で、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたり「強み」の生かし方を考えようとしたかを考察します。

【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができましたか」の質問で、自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたかを考察します。

【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができましたか」の質問で、自分の「強み」を知ることができたかを考察します。

【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問で、友達の「強み」を知ることができたかを考察します。

【⑤ 自分の「強み」を生かすことができると思ったか】

振り返りシートの「自分の『強み』を生かすことができると思いましたか」の質問で、自分の「強み」の生かし方を考えることができたかを考察します。

◆本時の考察（「振り返りシート」の結果と記述から）

【① 学習に進んで参加することができたか】

○振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合 83.3%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は 13.3%でした（図 1）。また、生徒の振り返りシートには、『星☆いくつ』でいろんな発見があった』『Step Up Webbing』の活動で友達のことを一生懸命考えた」という記述が多く見られました。一方、「あまりできなかった」と回答した生徒の割合は 3.3%でしたが、振り返りシートには、「もっとみんなのいいところを知ろうと思った」という記述がありました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」や「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動に進んで参加し、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたり、「強み」の生かし方を考えたりしたと考えます。

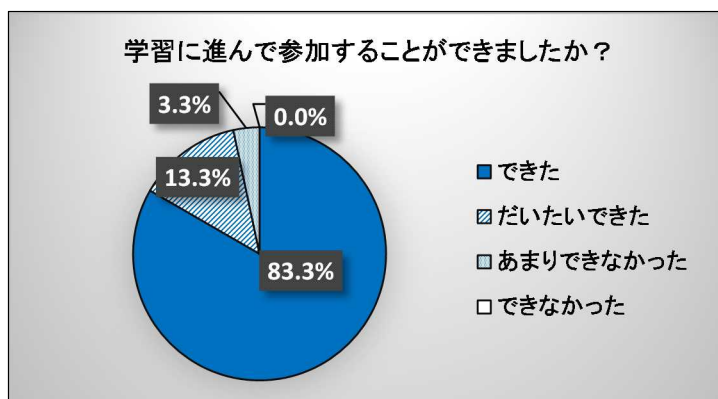


図 1 学習に進んで参加することができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

○振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は86.7%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は6.7%でした（図2）。また、生徒の振り返りシートには、「自分の『強み』や解決方法をみんなに言うことができた」「『強み』によって、同じ問題でも解決方法が違うことに気付いた」という記述が多く見られました。一方、「あまりできなかった」と回答した生徒の割合は6.7%でしたが、生徒の振り返りシートには、「自分の『強み』と友達の『強み』を知ることができて良かった」という記述がありました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」や「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動を通して自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたと考えます。

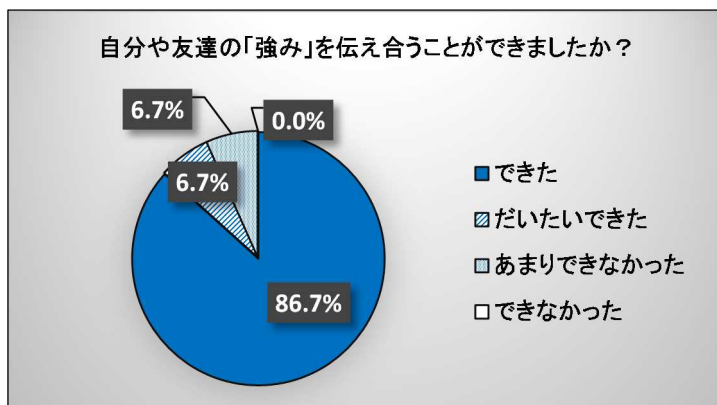


図2 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

○振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は80.0%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は20.0%でした（図3）。また、生徒の振り返りシートには、「友達から『強み』にシールを貼ってもらって嬉しかった」「自分では気付かなかった『強み』を友達から教えてもらって嬉しかった」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」や「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動を通して、自分の「強み」を知ることができたと考えます。

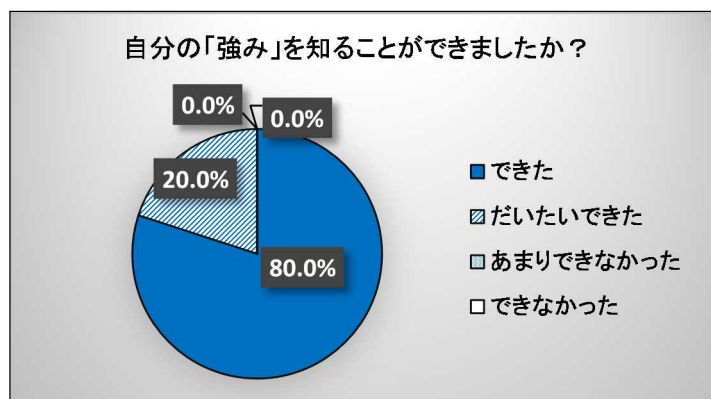


図3 自分の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

○振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は90.0%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は10.0%でした（図4）。また、生徒の振り返りシートには、「友達の『強み』を考えながらシールを貼った」「人によって『強み』のシールを貼る場所が違って意外だった」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」や「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動を通して、友達の「強み」を知ることができたと考えます。

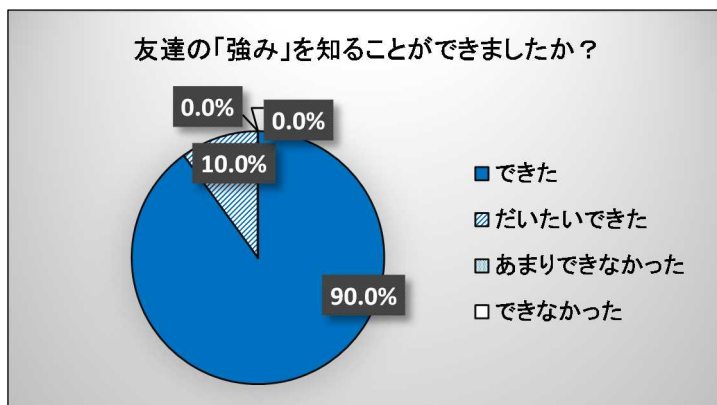


図4 友達の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

【⑤ 自分の「強み」を生かすことができると思ったか】

○振り返りシートの「自分の『強み』を生かすことができると思いましたか」の質問に対して、「思った」と回答した生徒の割合は56.7%、「だいたい思った」と回答した生徒の割合は36.7%でした（図5）。また、生徒の振り返りシートの記述には、「自分では気付かないアイデアをもらった」「早速解決策を使ってみたい」という記述が多く見られました。一方、「あまり思わなかった」と回答した生徒の割合は6.7%でしたが、生徒の振り返りシートには、「『強み』を使って自分の気持ちをコントロールして行動していきたい」という記述がありました。これらのことから、生徒は「星☆いくつ」や「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の学習活動やグループでの交流活動を通して、自分の「強み」の生かし方を考えることができたと考えます。

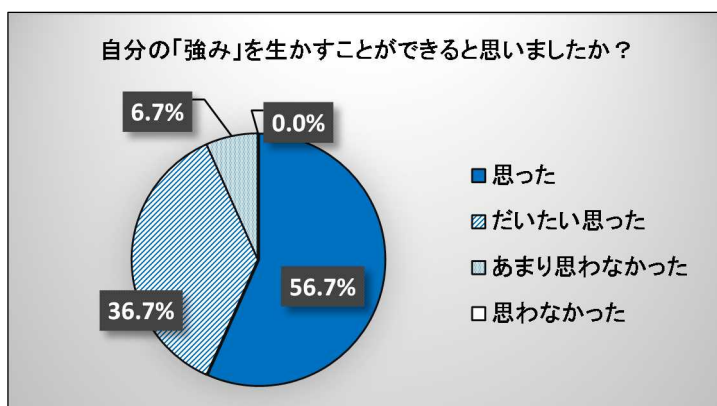


図5 自分の「強み」を生かすことができると思ったかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

以上の結果より、2時目の授業において、生徒は意欲的に授業に参加し、自分や友達の「強み」に気づき、それを伝え合い、自分の「強み」を生かすことができると思ったことが分かりました。また、「自分の『強み』を生かすことができると思ったか」の質問に「思った」と回答した生徒の割合が56.7%でした。他の質問項目で「できた」と回答した生徒が80%以上であるのに対して、低い結果となりました。その理由として、自分の困っていることや解決したいことに対して友達からアイデアをもらうことで、「強み」を生かしていこうとする意欲が高まったと同時に、改めて自分の生活を振り返り、過去の経験から、自分の「強み」を生かすことができるか不安に感じた生徒がいたと考えられます。今後の学習内容で、「強み」の定義を再度確認して、「強み」をどのように生かしていくかということを取り上げていくことが大切であると考えます。